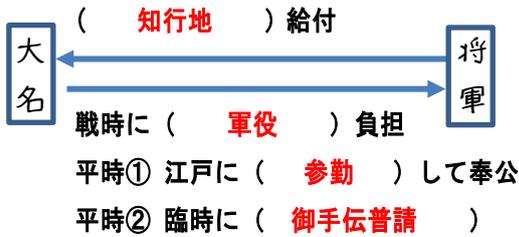


064 江戸時代 幕府と諸藩

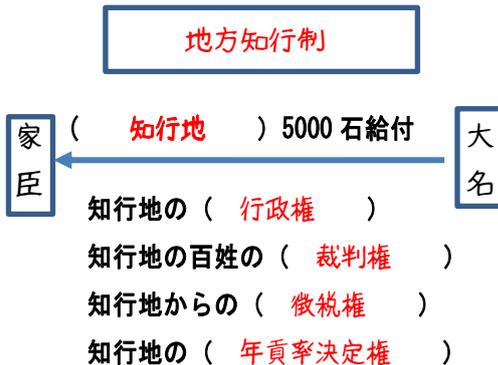
① 封建制度とは
 ただの主従関係ではなく、
土地 を媒介とした主従関係のこと。

② 将軍と大名の封建的主従関係



③ 大名とその家臣

あ 17世紀初め



い 17世紀後半



(内容) 知行地の行政権・裁判権等が藩に。
 (意義) 大名権力確立。

普請…(**ふしん**)と訓む。禅僧の言葉で、
 普くみんなあまたで作業奉仕を行う意味。

御手伝普請…ていかびと天下人(秀吉や徳川)が天下の
 公共の社会基盤全般を作るた
 めにみんなに課す。

御手伝普請の例 道路整備や河川工事。
 あ 利根川 の付け替え土木工事。
 1藩では無理。天下人だから可能。

い 江戸の神田山を削って 駿河台 。
 →その土砂で 日比谷 を埋めて
 広大な市街地を造成した。

駿府に隠居して 大御所 となっ
 いた家康の死去後、駿府で仕えていた
 家康家臣が江戸の駿河台に移ってきた。

う 100万都市江戸の排水改善のため、
 諸藩で 神田川、京橋川を開削。

え 木曾川治水工事
長島 の治水事業。 輪中
 の工事を薩摩藩1藩に課した。

お 全国の道路整備
五街道 整備。排水溝完備。

か 城郭整備
 江戸城、姫路城、彦根城、大坂城
 …諸大名に作らせた。